

山东大学

二〇一八年招收攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码 213 科目名称 翻译硕士日语

(答案必须写在答卷纸上, 写在试题上无效)

一、()に入れるのに最も適当なものを、選択肢A・B・C・Dから一つ選びなさい。(1点×15=15点)

1. 紛争が()、市民の生活に落ち着きがもどった。
A おさまり B さだまり C まとまり D よわまり
2. 「近代」という()を、わかりやすく正確に説明するのは難しい。
A 意識 B 概念 C 文脈 D 様相
3. 事務所ではアルバイトを2名()している。
A 案内 B 応募 C 募集 D 搜索
4. 彼は将来()小説家だ。
A 有効な B 有利な C 有益な D 有望な
5. 朝の()空気を胸一杯に吸った。
A すすがしい B わかわかしい C まなばなしい D なれなれしい
6. 王さんは()が広いから それについての専門家を紹介してもらおうといい。
A くち B かお C まゆ D みみ
7. この文章は子供をなくした親の()気持ちをつづったものである。
A そっけない B つれない C あっけない D せつない
8. 海外で買ってきた物を空港で()されることがある。
A 収集 B 収容 C 徴収 D 没収
9. 田先生は神経が()、生徒たち一人一人をよく理解してくれる。
A きよらかで B しなやかで C こまやかで D さわやかで

10. 人間関係でこんなに苦勞するなら、()この仕事をやめてしまおう。
A いっそ B いっしんに C いったい D いっこうに
11. 彼女は()色が似合う。
A おとなしい B くわしい C すずしい D めずらしい
12. 彼らは()結婚する予定です。
A たびたび B ちょうど C ちかぢか D せいぜい
13. 私は想像力の()人だ
A くわしい B おかしい C くやしい D まずしい
14. 橋の建設は()完成した。
A じつに B やたらに C ついに D つきなみに
15. 生徒が()に入ってきた。
A じょじょ B じゅんじゅん C だんだん D どんどん

二、次の文の_____の部分に入れるのに最も適当なものを、1-4から一つ選びなさい。(1点×15=15点)

- (1) 「そんないい加減ことを言う()」と父は怒った。
1 もんじゃない 2 ものだ 3 まい 4 ことはない
- (2) 孫がかわいい()、つい甘やかしてしまう。
1 せいで 2 あまり 3 ことで 4 くらいなら
- (3) 高くても無理をして買った()ことはあるなあ。
1 だけの 2 ための 3 おかげの 4 くらいの
- (4) どんな簡単な仕事()、まじめにやらなければいけない。
1 だから 2 にせよ 3 ながら 4 なのに
- (5) 留学するかどうかは、両親と相談した()決めたいと思っています。
1 ことで 2 ところ 3 うちに 4 うえで
- (6) 外国での生活が大変で、何度国へ帰ろうと思った()。
1 ものか 2 ことか 3 ほどか 4 までか

- (7) そんなに無理をすると体をこわし()よ。
 1 えない 2 かねない 3 ぎみだ 4 すぎる
- (8) その人は席を立った()たおれた。
 1 いなや 2 そばから 3 とたん 4 すぐに
- (9) そうじをしてないのか、ずいぶんほこり()部屋ですね。
 1 がち 2 みたいな 3 そう 4 っぽい
- (10) 石田さん、元気がない()、試験、だめだったのかな。
 1 だけに 2 ことだから 3 ところをみると 4 うえに
- (11) 弟は勉強はたいしたことないが、水泳に()誰にも負けない。
 1 しては 2 かけては 3 対しては 4 よっては
- (12) みんなが並ぶ()、このレストランの料理は本当においしい。
 1 かぎりに 2 わけで 3 としても 4 だけあって
- (13) お金がなくて買えないとなると、よけい()。
 1 ほしくなるものだ 2 ほしくなることだ 3 ほしくなくなるものだ
 4 ほしくなくなることだ
- (14) 川の上流に行く()、流れが速くなります。
 1 にそって 2 に対して 3 にしたがって 4 に際して
- (15) 今しているアルバイトは、楽な()時給がいい
 1 おかげで 2 あまり 3 ようで 4 わりに

三、読解 (40 点)

問題 I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、A、B、C、D から最も適当なものを一つ選びなさい。(2 点×7=14 点)

国内旅行中新幹線で隣り合った男性と世間話をしていたら、実は彼の恋人がよく昼ご飯を食べに行くレストランが自分の妻の友人が経営する店だった。①こういう出来事に出くわすと、人は世間って狭いもんだねえと感激し、なにか運命的なつながりを

感じるものである。もしこの2人が男女であつたりすれば、この運命的な偶然の一致をきっかけに距離が急速に近くなり、場合によっては②結婚に発展することだって十分にありうる。

だがこうした出会いというのは本当に運命的なのだろうか。

仮に日本の人口を1億人として、一人一人が1500人ずつの知人を持ち、彼らが全国に散らばっているとすると。そして、どこかで出会った見知らぬ人と③間に2人の人間をはさんでなんらかのつながりがある確率はほぼ100%に近いのである

それでも、冒頭のような出来事にめったにお目にかからないのは、平均的な日本人に知人が1500人もいないとか、その知人が全国に散らばっていないということもあるが、なによりもお互いに自分のすべての知人について語り合うということがないからだ。

根気よく世間話を続ければ、実はお互いの知人同士が知人という確率は私たちが思っている以上に高い。世間は本当に狭いのである

④ある心理学者がこんな実験をした。彼は無作為に選んだ人たちに書類を渡し、それをAさんに届けてほしいと依頼した書類を渡された人たちはAさんとはまったく面識はないし、共通の友人、知人もいない。その学者は目標の人物をもっとも知っていそうな知人に書類を渡し、書類を受け取った人はさらにその知人へとその人物にたどりつくまで、同じことをくり返すようにと指示したのだ。こうしたサンプルを数多く集めることで、見知らぬ同士が何人の人をはさんでつながりを持っているかを調べようとしたわけだ。

結果は知らない人間同士の間に介在する人の数は2~10人、5人がもっとも平均的というものであった。つまりどんなにエライ人や有名なスターでも彼らとあなたの間はわずか数人の人たちによって隔てられているに過ぎず、何かのきっかけで彼らと知り合いになる可能性はあるし、逆に彼らに関するさまざまな情報や秘密がウワサとして伝わってくることもあるはずだ。

確率の世界では世間というのは我々が考えている以上に狭くて人々が密かに関連し合う空間なのである。(田中義厚「確率の人生学」による)

問1 ①こういう出来事とあるがたとえばどういう出来事か。

- A 偶然知り合った人の知り合いに恋人の店を紹介してもらったという出来事
- B 偶然知り合った人が自分と自分の恋人のことをよく知っていたという出来事
- C 偶然知り合った人の知り合いが自分の知り合いの店を知っていたという出来事
- D 偶然知り合った人に自分の知っている知り合いの店を紹介したという出来事

問2 ②結婚に発展することだって十分にありうるがあるがこのような関係に発展する可能性があると考えられるのはなぜか。

- A 近くに住んでいると分かったから
- B すきなことが一致しているから
- C 友人たちが協力してくれるから
- D 運命的なつながりを感じるから

問3 ③間に2人の人間をはさんでなんらかのつながりがあるとは具体的にどういうことか。

- A 自分が相手の知人を2人知っていること
- B 自分の知人が相手の知人を知っていること
- C 相手が自分と自分の友人を知っていること
- D 相手が自分の知人を2人知っていること

問4 ④ある心理学者がこんな実験をしたとあるが筆者はその結果についてどのように考えているか。

- A 偉い人やスターと私たちはたくさんの人に隔てられているわけではないから必ず知り合いになれる
- B 偉い人やスターと私たちはわずかな人に隔てられているだけだから知り合うこともあり得る
- C 偉い人やスターと私たちはわずかな人に隔てられているし知り合えることはほとんどない
- D 偉い人やスターと私たちはたくさんの人に隔てられていて決して知り合うことはな

い

問5 筆者が考えている運命的な出会いが少ない最も大きな原因は何か。

- A お互いに自分のすべての知人について語り合わないこと
- B 偶然の出会いがあっても運命的だと考えないこと
- C 平均的な日本人には1500人も知人がいないこと
- D 1500人の知人が全国に散らばって住んでいないこと

問6 筆者は世間の広さをどのように考えているか。

- A 確率の世界では世間は一般に考えられているように非常に狭い
- B 確率の世界では世間は一般に考えられているよりずっと狭い
- C 確率の世界では世間は一般に考えられているように非常に広い
- D 確率の世界では世間は一般に考えられているよりずっと広い

問7 筆者は確率から考えたとき運命的な出会いをどうだと述べているか。

- A かなり珍しいことであるから本当に運命的だと考えられる
- B よくあることではあるがいつも運命的だと言えないこともない
- C めったにないことであるがいつも運命的だとは言いがたい
- D それほど珍しいことではないから本当に運命的だとは言えない

問題II 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、A、B、C、Dから最も適当なものを一つ選びなさい。(2点×8=16点)

「どうだみえないだろう？我が輩はついに自分をゴシゴシと消してしまうことに成功した！」この声の正体は「消しゴム博士」という科学者である。

この博士は、トンボみたいにヒョロヒョロとした(1)オジイサンだが、頭がいい。消えてしまった博士は、どうしてもとのとおりに見えるようになるかという、「不思議な鉛筆」でチョイチョイと鼻の頭をなでると、たちどころに(2)姿が現れるのである。この鉛筆も博士が発明した。いま、鼻の頭を鉛筆でなでると言ったが、ほんとうは鼻の絵を描くようにしなければならない。消えている自分の顔を描くと姿が現れる、というわけである。

さて、ここに「怪人ゴム男」と言うのがいる。こいつは悪いやつで、博士の消しゴムをうばって自分の姿を消し、あらゆる悪事をしようと思っているのである。

しかし、いくらヒョロヒョロしていても、博士は(3)油断をしない。この不思議な消しゴムは、博士が苦心して作ったもので、普通の消しゴムとはぜんぜん違う。

では、ふつうの消しゴムとは、(4)何であるか。ゴムはアマゾン川のあたりに生えている「ゴムノキ」から出来るものだが、1770年、イギリスの化学者が鉛筆で書いたものが、ゴムで消えるのを発見した。

1839年ごろになると、ドイツ、アメリカ、フランスなどで、品質のよい消しゴムがつくられるようになる。わが国には明治19年(1886)ころに、消しゴムの製造が始まったが、まだまだ、よいものが出来なくて、外国から輸出をしていたのである。しかし、大正3年(1914)ころから、次第によいものができるようになる。ちかごろはプラスチック製のものもあるし、インキを消すのに使う砂製のものもある。また、オモチャのようなものもあるし、香水みたいににおうものもある。消しゴムは、会社で事務用に使われるよりも、学童が使うほうがずっと多い。

「ハハハ、どうだねこのわたし? (5)」と笑い声がする。見ると、ズボンとクツが歩いているではないか。「上のほうは消しゴムで消してあるの。いまトイレへ行って来たので、下のほうだけ見えるのよ」と、博士の声がするのである。こんなのんきなことをしていて、怪人ゴム男にやられてしまうのではないかしら。ゴム男と言うのはその名のとおり、ゴムみたいにのびたり縮んだりするし、(6)はねるし、てごわい相手なのだ。しかし、消しゴム博士は天才科学者であるから、やすやすとやられる(7)ことはあるまい。(長新太ユーモアの発見)より)

問1(1)はどんな様子ですか。

- A じっとしていて、何を考えているのわからない様子
- B 細長くて弱弱しいような様子
- C 行いが軽軽しく、じっくり考えない様子

D 目を大きく見開いて、落ち着かない様子

問2(2)はどんな意味ですか。

- A びっくりしたように
- B はずかしそうに
- C いつでもどこでも
- D その場ですぐに

問3(3)にはどんなことばが入ると思いますか。

- A 消しゴム博士だから
- B オジイサンだから
- C 頭がいいから
- D のんきだから

問4(4)にはどんなことばが入ると思いますか。

- A いったい
- B いわば
- C けっきょく
- D そもそも

問5(5)はどんな気持ちを表していますか。

- A 自分の姿を見て、われながらおもしろくてたまらない気持ち
- B 自分の発見を満足そうに人にじまんする気持ち
- C これだったら怪人ゴム男にもやられないだろうという安心した気持ち
- D 全部消すはずのものが、ズボンとクツだけ消せなくて、残念さを笑ってごまかす気持ち

問6(6)にはどんなことばが入ると思いますか。

- A ボウルみたいに
- B 石みたいに
- C 氷みたいに
- D 雲みたいに

問7 (7) はどんなことですか。

- A 博士をゴシゴシとけしてしまう
- B 消えた博士をもとのとおりに見せてしまう
- C 博士の消しゴムがうばわれる
- D 博士の頭をぬすんでしまう

問8 本文の内容と合わない文はどれですか。

- A 今日本の消しゴムの種類がかなり多くなった
- B 消しゴム博士は頭がいいので、決して怪人ゴム男に消しゴムを奪われない
- C 消しゴム博士は自分を消すことに成功した
- D どこの会社でもいまは全く消しゴムを使うことはない

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは日本語で書きなさい。(5点×2=10点)

1. 税に関する本を読んでも、最近の世界の税制改革を調べても、望ましい税の条件としてまっさきにあげられているのが負担の公平です。「公平」とは、国民がそれならば負担してもよい、負担するのもやむをえないと考える税負担の決め方と理解しておいてください。それでは、なぜ公平なのか。納税が義務、つまり強制だからです。寄付のように自発的な負担なら、負担の決め方が不公平だと思えば寄付を断ればよいのです。したがって、公平だと思う人だけが頼みに応じて負担する寄付はつねに公平です。ところが、強制的な税の場合はそうはいきません。負担の決め方が不公平だと思っても、納税は拒否できないのです。

質問：税負担の公平とは何か、100字以内で説明しなさい。

2. 快楽を定義すると、「何の役に立つわけでもないが、自分にとって楽しいこと、ラクなこと、気持ちのよいこと」ということになります。「何の役にも立たない」というのがポイントです。大人になるにしたがって、私たちは「何かのために言動せよ」

と要求されることが圧倒的に多くなってきます。受験のために勉強する、健康のためによりよい食事を摂る、収入を得るために働く、明日のために早く寝る、知識を得るために本を読む…。それはそれでとても大切なことですが、いつも「…のため」という目的で生活するのは、とてもしんどく疲れることです。

質問：なぜ大人はとてもしんどく疲れるか。100字以内で説明しなさい。

四、次のテーマを中心に、日本語で400字の作文を書きなさい。(30点)

私の故郷

